

埼玉県行田市の世界最大規模の田んぼアートの見頃に合わせ 9/26(土)、27(日)「SL 日本遺産のまち行田号」特別運行 熊谷駅発・行田市駅行を1日2便、まちあるきツアーも予定

秩父鉄道株式会社（本社：埼玉県熊谷市、代表取締役社長：牧野 英伸）は、埼玉県行田市（市長：行田 邦子）と連携し、SL パレオエクスプレスに乗って行田市の観光スポットにお出かけする「SL 日本遺産のまち行田号」を2026年9月26日(土)、27日(日)に特別運行します。

2026年7月11日(土)、12日(日)に熊谷駅発・行田市駅行のSL パレオエクスプレスを初めて運行し、大きな反響がありました。当特別運行では、最も売れているビデオゲームとコラボした「田んぼアート」へのお出かけに、より便利なダイヤを新たに設定し、行田市駅へ1日2便運行します。

行田市駅到着後は、ガイドと巡るまちあるきツアーへの参加や、レンタサイクル、バスなどを利用した行田市内の周遊をお楽しみいただけます。

詳細は、以下のとおりです。

【「SL 日本遺産のまち行田号」特別運行について】



SL 日本遺産のまち行田号 2026 年 7 月運行時の様子

- | | |
|-----------|--|
| (1) 運 行 日 | 2026 年 9 月 26 日(土)、27 日(日) |
| (2) 運行区間 | 秩父鉄道 熊谷～行田市駅 1 日 2 便（全席指定席） |
| (3) 運行時刻 | 第 1 便 熊谷 10：18 発→行田市 11：01 着
第 2 便 熊谷 11：55 発→行田市 12：34 着 |
- ※運行の都合上、武州荒木駅を経由して運行します。また、一部 EL（電気機関車）牽引の区間があります。

※途中駅での下車はできません。

- (4) 車両編成 SL (C58363 号機) + 12 系客車 4 両 + EL1 両
 - (5) イベント 特別ヘッドマーク、特別客車案内板 (サボ) 掲出、特別乗車記念証プレゼント
 - (6) 料 金 大人 2,000 円、小児 1,650 円 (SL 指定席券、SL 乗車区間の乗車券含む)
 - (7) 予約方法 秩父鉄道ホームページより WEB 受付 (クレジットカード事前決済制)
- 9 月 26 日 (土) 運行分 : 2026 年 8 月 26 日 (水) 10 : 00 ~ 9 月 16 日 (水) 23 : 59
9 月 27 日 (日) 運行分 : 2026 年 8 月 27 日 (木) 10 : 00 ~ 9 月 16 日 (水) 23 : 59
- 秩父鉄道ホームページ <https://www.chichibu-railway.co.jp/>
●本企画詳細ページ <https://www.chichibu-railway.co.jp/blog/news/sl260926/>
- ※当特別運行の SL 指定席券は、運行当日の駅および SL 予約システムなどでの販売はありません。
- ※運転状況により運転区間・時刻が変更になる場合があります。
- ※やむを得ず、急きょ客車の牽引機が全区間 SL から EL (電気機関車) に変更になる場合があります。

【「田んぼアート」にアクセスできるツアーなどについて】

当特別運行で行田市駅へ到着後には、観光レンタサイクルやシャトルバスで「田んぼアート」へのお出かけ、また日本遺産のまちをガイドとともに訪ねる「まちあるきツアー」などの企画で行田市内周遊をお楽しみいただけます。詳細は行田おもてなし観光局ホームページで 2026 年 8 月中旬にご案内します。

●行田おもてなし観光局ホームページ <https://www.gyoda-kankoukyoukai.jp/>

行田市駅から南東へおよそ 5km に位置する「古代蓮の里」は、公園内に 42 種類、約 12 万株の蓮が植えられ、6 月中旬～8 月上旬にかけて見頃を迎えます。公園内にそびえたつ「行田タワー」から見学できる「田んぼアート」は、水田をキャンパスに見立てて、色の異なる稲を使い巨大な絵や文字を表現しています。世界最大の規模を誇り、7 月中旬～10 月中旬にかけて見頃を迎え、毎年異なる絵柄のアートをお楽しみいただけます。



古代蓮の里 イメージ



田んぼアート イメージ

【埼玉県行田市について】

埼玉県北部に位置し、利根川と荒川に挟まれた水と緑に恵まれた歴史あるまちです。

名産品としては足袋が広く知られており、最盛期には年間約 8,400 万足もの足袋を生産していました。現在でも日本で一、二を争う足袋産地であり、「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」のストーリーは、2017 年 4 月 28 日に埼玉県内初の“日本遺産”に認定されました。市内には多くの足袋蔵などの歴史的建築物が残っているほか、「行田花手水 week」期間中は、商店や民家の前などに花手水が飾られ、趣きある景観をお楽しみいただけます。

関東七名城のひとつ「忍城址」、9 基の大型古墳が群集する「埼玉古墳群」など、市内にはほかにも多くの観光資源があります。



埼玉古墳群 イメージ



忍城址と花手水
イメージ

※各イベント内容は急きょ変更または中止になる場合があります。

※各種なくなり次第終了です。

※記載金額は全て税込です。

◆「SL 日本遺産のまち行田号」特別運行に関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 鉄道事業本部 運輸部 運輸課 TEL048-523-3313（平日 9：00～17：00）

行田市 参事兼市民生活部交通政策課長 島田 TEL048-556-1111（内線 259）

◇この資料に関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 総務部 総務課 小林・中澤 TEL048-523-3311（平日 9：00～17：00）